

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		せんだんの杜国見ヶ丘の家				公表日	令和7年3月21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スロープやリフター車両を導入し、活用しております。	室内の段差や情報伝達等の配慮がまだ不十分であるため、今後そちらを改善していきたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、週に1回活動物品等の共有している物品の消毒も行なっております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティション等で区切り、個別対応ができる環境を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせで、活動や業務内容について振り返り、見直しを行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の申し送りや6ヶ月に1回のモニタリング等で、ご意見を伺っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の打ち合わせや職員会議等で機会を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修年間計画に基づく内部研修、その他外部研修への参加をしております。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムを令和7年3月に公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングの実施、活動場面における行動アセスメントを実施しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の作成にあたっては、職員で会議を行ない、作成することとしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもの支援に必要な項目を設定し、個々の状況に応じた具体的な支援内容も記載しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月毎の目標、ねらいを設定しており、週単位での活動立案を実施しております。	活動プログラムが類似することもあるため、打ち合わせの際に細かく確認する必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に打ち合わせを行ない、支援内容や個別に配慮する事項等について確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	送迎対応や職員の就業時間の兼ね合いで、翌日の打ち合わせの際に振り返りを実施しています。また、振り返りを記録に残し、打ち合わせに出席できなかった職員に共有しております。	支援終了後は送迎対応があり、職員の就業時間の兼ね合いもあるため、対応が難しい現状となっております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回のモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容によっては、ご利用者様同士で話し合う、ご利用者様と職員で相談する等の機会を設け、自己決定する力を育てよう努めております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			地域の保健、医療の関係機関等との連携をさらに強化できるよう努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有は保護者様を介して行なうこともあるものの、送迎時の対応等は学校と連絡調整が出来ております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○		直接的な情報共有が出来ているご利用者様もいますが、就学前の支援計画等を保護者様より情報提供していただくケースが多いです。今後は情報共有の機会を積極的に設けていきたいと思っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○		直接的な情報共有よりも、保護者様を介して情報共有するケースが多いです。今後は情報共有の機会を積極的に設けていきたいと思っております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○		今後連携の強化に努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		下校時間の兼ね合いから学校期間は難しいものの、今後長期休暇等に交流する機会を設けられるよう努めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		情報提供が出来ていた保護者様もいたものの、家族支援プログラムや研修等の機会を設けられておりませんでした。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時や変更があった場合に実施しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時やモニタリング等の際に意向を確認しております。自分の意思が伝えられるご利用者様には直接確認するように努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			送迎時やモニタリング等、状況に応じて対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士で交流する機会はまだ開催回数が少なく、また、きょうだい同士で交流する機会は設けることが出来ていませんでした。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			通信や行事予定等を発行しているものの、頻度が低いため今後発行回数を増やしていく。HPやSNS等の活用が出来ていないため、ご利用者様や保護者様への発信を強化していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		通信等に写真を掲載する場合は必ず保護者様へ確認を行なっております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		書面で分かりやすくお伝えする、契約書や通信等の書類にはルビをふる等の対応も個別に行なっております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアル等の策定や訓練の実施を行なっているものの、ご家族様への周知を強化していきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に必ず詳細を確認しており、緊急時の対応についても共有しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書は書面でいただいておりますが、保護者様よりアレルギーの詳細や対応について確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			今後緊急時に備えて、研修や訓練の機会を増やしていきたいと思っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			取組内容について詳細を分かりやすく保護者様へ周知していきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを全職員で共有し、再発防止に向けた対策を検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				